

令和8年度 一般会計予算、各特別会計予算、下水道事業会計予算

予算議案を審査するため、定例会初日に一般会計、特別会計及び下水道事業会計の各予算特別委員会が設置され、一般会計は3月3日から5日までの3日間、特別会計及び下水道事業会計は3月6日に審査が行われました。定例会最終日には、幸田昌之一般会計予算特別委員長と山田大輔特別会計・下水道事業会計予算特別委員長からそれぞれ審査報告があり、採決の結果、一般会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計を賛成多数で、介護保険事業特別会計及び下水道事業会計を全会一致で可決しました。

市長の提案説明の概要は、以下のとおりです。

【一般会計】

予算総額は9億51億円で、前年度比5・3%、48億1千4百万円の増となっています。つな

Table with 4 columns: Category, 8年度予算額, 7年度予算額, 伸び率. Rows include General Account, Special Accounts (National Health Insurance, etc.), and Sewerage Accounts.

が、共に創るまちこだいらの実現に向け、社会情勢の見通しが難しい中、選択と集中で限られた財源を重点的、効率的に配分し、事業構築の創意工夫等により、つながる笑顔と未来を育む予算として編成しています。

【後期高齢者医療特別会計】 予算総額は59億5千5百万円で、前年度比8・9%、4億8千9百万円の増となっています。

【国民健康保険事業特別会計】 予算総額は78億6千5百万円で、前年度比0・1%、1千3百万円の増となっています。

【介護保険事業特別会計】 予算総額は72億4千3百万円で、前年度比2・1%、3億5千2百万円の増となっています。

【下水道事業会計】 収入は44億7千56万8千円で、前年度比3・4%、1億4千7百77千円の増です。

支出は45億6千7百60万8千円で、前年度比14・0%、5億6千14万円の増です。

収入は13億2千6百41万9千円で、前年度比17・9%、2億4千44万9千円の増です。

支出は19億2百77万7千円で、前年度比12・5%、2億7千2百86万3千円の減です。

一般会計予算に対する各会派の討論(要旨)

賛成 自民党小平政和会

DX推進や教育環境整備等を評価。実行改革を強く求む

①行政のオンライン化の拡充や業務プロセスの再構築への着手など行政DXの本格推進を評価する。②住民福祉の増進という本来のミッション実現を強く求める。③子育て支援の拡充を評価するが、待機児童解消や学童クラブ過密緩和への

賛成 市議会公明党

会派として推進した事業の実現等に一定の評価をする

①子ども誰でも通園制度、産婦人科等の費用助成、不登校対策としての校内教育支援センター支援員の設置等は一定の評価をする。②医療的ケア児等コーディネーターの配置は家族の安心につながる重要な一歩である。③災害時の医

賛成 フォーラム小平

限られた財源の中で一定の工夫と配慮が見られる

①ハラスメント対策は外部相談窓口の設置が示され、安心して働ける環境への重要な一歩となった。②公共施設のWiFi環境の整備等は、利便性向上と手続の効率化が図られ評価する。③小学校校庭等の早朝開放の継続の実施は、こどもの居場所づくりとして評価

反対 日本共産党小平市議団

開発優先、厳しい生活を支える予算となっていない

①公共施設マネジメント推進計画の各整備事業は、資材費等の高騰で事業費が上昇を続けている。②国の対策が不十分な中、厳しい物価高騰から市民の生活を

反対 一人会派と維新の会

市長の公約に対する態度、財政見直しを評価できない

本予算案は、令和7年度に続き、本市の独自性や特色が十分に示されたものとは言えず、方向性が見えない内容であると判断する。市長公約については、1期目の公約が十分な検証なく扱われ、未達成事項も含め選挙結果をもって信任されたとする答弁は説明責任を果たしたとは言えない。行政運営では誤支給等のヒューマンエラー

賛成 生活者ネットワーク

子育て、教育ほか、会派の提案を含む施策等を評価する

産後支援の拡充、全小・中学校への言語聴覚士の派遣、医療的ケア児等コーディネーターの導入、多文化共生推進、エネルギー施策の充実等を評価する。なお、①公共施設集会所等の有料化は凍結すべきである。②職員のヒューマンエラーやモラルに反する事案の再発防止と働きやすい環境づくりを求める。③複合施設小川パレットは、市民と共に施設づくりを進めるべきである。④いきいき協働事業は、市民提案型の枠組みを再構築する必要がある。⑤仮称こども条例は、大人とこどもの意見のやり取りが重要で、市長部局と教育委員会は対等な立場で策定に関わるべきである。オンブズパトロールの設置は必須で、条例に具体的な救済機関の明記を強く要望する。

反対 まちづくり市民こだいら

市債を増やし進める大型事業に市民意見の反映が不足

①市債発行額は前年度より22億6千2百70万円増え、61億6千8百40万円で、臨時財政対策債を除いた市債現在高は令和3年度以降増え続け、市債依存度も平成29年度以降最大となった。②起債額のうち最大を占める小川駅西口複合施設取得では男女共同参画センターの専用スペースがなく、次に起債額を占める中央エリアビック

賛成 市議会れいわ新選組

笑顔と未来を育むための積極的な投資として高く評価

①新設のシティプロモーション課は、外部専門人材の活用により市の魅力の戦略的な発信体制を整えている。手続のオンライン化の拡充等は、市民の利便性の向上と職員の仕事負担軽減を実現する実効性のあるDX施策である。②子ども誰でも通園制度の本格実施のほか、1か月児健診の費用助成の開始は子育て世帯の経済的・精神的な安心感に直結する施策である。③医療的ケア児等コーディネーター配置を高く評価する。④給食室のスポットクーラー配備拡充やトイレの洋式化等による学習環境の改善を評価する。⑤スマート農業技術の導入支援等は地産地消の促進に有効である。以上、市民生活の安全・安心を守り将来の発展を見据え創意工夫された予算である。